図面は貴重な資料です
有効に使用しましょう

宮・庄川森林計画区　第7次国有林野施業実施計画　（令和6年度樹立）　国有林野施業実施計画図　面積116,078.94ha　第6葉　（全17葉）

公共座標　第Ⅶ系（世界測地系）

飛騨−6

神通・庄川広域流域　宮・庄川森林計画区

飛騨市　古川町　白川町　河合町舟原　高山市　清見町大谷　清見町工黒　清見町中切　清見町池本　清見町二本木　清見町上小島　清見町三田谷　夏厩　大野郡白川村　荘川町岩瀬　荘川町六厩

大谷　（3049〜3072林班）
大谷担当区

森茂　（3073〜3112林班）
大谷担当区

凡例

保安林	水源かん養林		附帯地	建物	敷
	土砂流出防備林			防火線	敷
	干害防備林			林道	敷
	なだれ防止林			レクリエーションの森施設	敷
	保健林		貸地	全ての貸地	
	防風指定地		雑地	岩石地	
国立公園	特別保護地区			崩壊地	
	第1種特別地域			荒廃地	
	第2種特別地域			湿地	
	第3種特別地域			草生地	
	普通地域			高山帯	
県立自然公園	第1種特別地域			その他雑地	
	第2種特別地域		林種	人工林 針葉樹 林齢	12年
	第3種特別地域			人工林 広葉樹 林齢	15年
	普通地域			人工林 複層林	
	都道府県自然環境保全地域特別地区			人工林 混交林	
	都道府県自然環境保全地域普通地区			天然林 針葉樹 林齢	80年
	都道府県自然環境保全地域野生動物保護地区			天然林 広葉樹 林齢	50年
	鳥獣保護区特別保護地区			天然林 育成天然林 林齢	40年
	鳥獣保護区普通地区			天然林 混交林	
	史跡名勝天然記念物			人工林伐採跡地（伐採により無立木地となった林分）	
保護林	森林生態系保護地域保存地区			天然林伐採跡地（伐採により無立木地となった林分）	
	森林生態系保護地域保全利用地区			単層林（主伐実行後で更新未了林分）	
	生物群集保護林保存地区			天然生林（主伐実行後で更新未了林分）	
	希少個体群保護林			未立木地（伐採跡地以外の無立木地）	
	緑の回廊		代表樹種	スギ	
レクリエーションの森	自然観察教育ゾーン			ヒノキ	
	森林スポーツゾーン			サワラ	
	野外スポーツゾーン			アカマツ	
	風景ゾーン			カラマツ	
	自然観察教育林			その他針葉樹	
	野外スポーツ地域		施業群	小面積分散伐区	
	風致探勝林			小面積分散伐区枝打	
分収育林	分収育林契約に基づく分収林			長伐期	
分造	分収造林契約に基づく分収林			人工林長伐期複層伐（植栽型）	
	遺伝子保存林			人工林複層伐（植栽型）	
	精英樹保護林			人工林面的複層伐（植栽型）	
	検定林			人工林複層伐（天然更新型）	
	施業指標林			人工林択伐	
	試験地			天然林複層伐（天然更新型）	
	保護樹帯			天然林択伐	
	渓畔林			その他	
	更新困難地			施業群設定外	
	遊々の森				
	巨樹・巨木				
	多様な活動の森				
	森林施業モデル林（水源涵養タイプ）				
機能類型	山地災害防止タイプ				
	水源涵養タイプ				
	自然維持タイプ				
	森林空間利用タイプ				
	快適環境形成タイプ				

注1）林齢等上記記号が表記してある場合は、その記号の種別が林班毎に分かれることがある。
ただし、記号の上部に種種が記載されている場合には一部に異なる種別が存在することを表している。
注2）林齢は、令和6年1月1日時点で何年生かを表す。
注3）等高線の間隔は、国有林1/25、民有林10mである。なお、民有林は国土地理院の地形図を調製したものであり、国有林の等高線とは必ずしも一致しない。

立入禁止区域

凡　例			
	立入禁止区域	色別・区域	期間
1	岐阜県鳥獣保護区・休猟区	岐阜県ハンターマップ参照	通　年
2	レクリエーションの森、協定の森、共用林野等、署長等が立入禁止とする場所		通　年
3	販売（立木、副産物、分収育林） 請負（素材生産、造林、治山、林道等） 委託箇所（収穫調査、巡視、測定等） 直営箇所（収穫調査、巡視）	実線内 破線上のみ	R8.4.1 〜 R8.10.31
4	地方自治体等が有害捕獲等事業を実施するために狩猟者の立入を制限する区域		通　年

※有害駆除、個体数調整等で立入禁止区域で狩猟等を行いたい場合は、該当森林管理署等へご相談下さい。

令和六年度調製　中部森林管理局　飛騨森林管理署　大谷担当区

（飛　騨）3049〜3112　　所在地　岐阜県　高山市

本図は空中写真図化による5,000分の1基本図を縮図調製したものである。
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6 JHs 613」「背景図は電子地形図25000を拡大して使用しているので、位置精度は基図に準じます。」

国土地図株式会社